

講義名	アジア経済論			授業形態	
担当教員	河口 和範	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

現在のアジア経済は飛躍的に伸びています。かつて「世界の工場」と呼ばれた中国から東南アジア各国にその役割が移行しつつあります。その結果、グローバル・バリュー・チェーン（国際付加価値連鎖）やグローバル・サプライ・チェーン（国際供給連鎖）が構築されてきています。日本や東アジアが経験したキャッチアップ型経済発展論では説明できない現象が、現在のアジア地域では起こっています。本講義を履修することにより「躍動するアジア」を知り、そして今後のアジア経済発展の展望について議論を進めていきます。

到達目標

本講義では、現在の「アジア経済」において、グローバル化が進捗しており、東アジアや東南アジア各国でグローバル・バリューチェーンやサプライ・チェーンなどが構築されてきており、その経済効果について習得することを目的とする。しかし、グローバル化の良い面ではなく貧困問題（所得格差）や環境問題等の課題も発生していることは事実である。そのことについてどのように考え、解決することであることを最終的な到達目標とする。また、本学のテーマ「ポリシ」の、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する観点」から、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収集力）、収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）、現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）を最終的に身に付けることができるようになることである。

提出課題

進捗状況により、レポートを課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポート課題のフィードバックはその登壇の授業開始後に行います。

評価の基準

中間試験（理解度の確認試験） - 30点
 期末試験 - 60点
 授業への参加態度 - 10点
 中間試験と期末試験の合計点を中心に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

教科書を使用しますので購入は必須です。必ず購入してから講義に参加してください。
 「日本経済」、「アジア史」、「開発経済学」等の科目も併せて履修することにより、より理解度が深まります。

教科書

・「現代アジア経済論「アジアの世紀」を学ぶ」	伊藤環・伊藤亜聖・大泉 啓一郎・後藤健太(編)	有斐閣ブックス	2700	9784641184428
------------------------	-------------------------	---------	------	---------------

参考図書

・適宜指示します。

その他

資料等は授業中に適宜配布します。

授業計画

- 第1回：ガイダンス 「アジアの時代」の経済学とは
 資料を配布します
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）
- 第2回：変化するアジア アジア経済はどう論じられてきたか
 ・ 発達するアジアから成長するアジアへ
 ・ 「東アジアの奇跡」からアジア金融危機へ
 ・ 中国の台頭と新興アジア経済へ
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をもとに、教科書12～28ページをよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）
- 第3回：アジア化するアジア 域内貿易と経済統合の進展
 ・ 後進国からの脱却
 ・ 子ファクトの経済統合とグローバル・バリューチェーン
 ・ デジタルの経済統合、今後の可能性と課題
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をもとに、教科書29～50ページをよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）
- 第4回：中国が変えるアジア 改革開放と経済大国・中国の登場
 ・ 改革開放政策と中国の経済発展
 ・ 「世界の工場＝中国」の形成
 ・ 「経済大国＝中国」の登場
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をもとに、教科書51～70ページをよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）
- 第5回：生産するアジアーグローバルな分業ネットワークと地場産業の発展
 ・ アジアの工業とグローバル化のエンジンの移り変わり
 ・ グローバル・バリューチェーン論の視点
 ・ 産業の事例 グローバル・バリューチェーンの中の地場産業
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）
- 第6回：資本が巡るアジア 成長と資本フロー
 ・ 国際資本フロー
 ・ アジア経済と資本
 ・ アジアを金融めぐる政策課題
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をもとに、教科書94～118ページをよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）
- 第7回：中間試験
 ・ 第1回～第6回までの内容に即した内容で筆記試験を行う。
 予習：教科書12～118ページまでをよく読み、教科書の各章の最後にある「課題」を解けるようにして試験に臨むこと
- 第8回：移動するアジア 相互依存関係の深まりと加速するヒトの流れ
 ・ アジアにおける国際労働移動とそれを見る視点
 ・ 2000年代以降の労働移動としてのダイアミズムと制約
 ・ 労働移動に関する政策・制度変化の役割
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をもとに、教科書119～138ページをよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）
- 第9回：革新するアジア 中所得国化と成長バタケーンの展開
 ・ 中所得国化と成長の源泉
 ・ イノベーションと成長の源泉
 ・ アジアのイノベーション政策
 予習：キャンパスワロスに事前に提示する資料をもとに、教科書140～160ページをよく読んでおき、わからないことがあった場合は、事前に調べて講義に出席すること（90分）
 復習：講義で取り上げた内容の復習（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

到達目標に挙げた通り、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する観点」から、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収集力）、収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）、現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）を身に付けることができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教員による一方的な講義ではなく、講義中に学生に質問しますので与えられた学生はその質問に答えられるようにしっかり予習を行って講義に参加してください。

実務経験の有無及び活用

備考